

県婦連だより

発行所

千葉県商工会連合会内
千葉県商工会婦人部連合会

〒260 千葉市千葉港 4-2

☎ 0472 (42) 3 3 6 1

第 9 号

平成 2 年 3 月



いやさか君津踊り

毎年「君津ふるさと祭り」のメイン・イベントとして
商工会婦人部が中心となり実施されており、年々踊り
への参加者が増えており広く市民に親しまれている。

写真提供／君津市君津商工会婦人部

倉本聰のテレビドラマに、「悲別」という作品があった。架空の地名を舞台にしたものが、北海道には登別、湧別、女満別……など、「別」と名づけられた地域がいっぱいある。

きのこの里愛別町は人口五千の過疎の町。愛と別れをいっしょにした地名はなんだか淋しうだが、どうしてどうして、いま町ぐるみ燃えている。

北海道婦連を皮切りに風連町、剣淵、当麻町……など道内を講演して回った六年前、愛別町の青年部は設立間もない揺籃期。前婦人部長の長屋志津子さんの介添えて、やっとヨチヨチ歩きはじめたところだった。(長屋さんは昭和五十八年度に鴨川市で行なわれた全婦連東日本研修の折、道婦連副部長の立場でリポーターを務めたので、顔なじみの方も多はず)。子育て上手な長屋さんは、だから青年部を育てるのもうまかった。

あれから六年目、去る三月五日に二度目の講演に赴いたが、青年部はすっかり親離れ、いや婦人部ばなれして見事に自立していた。

その逞ましい活躍ぶりが三年

前にはじめた「きのこの里」フェスティバル。おつかなびつくりで幕を開けたこのフェスティバルは、いまや旭川や札幌まで巻きこんで、当日の参加者は人口のほぼ二倍に賑わあがる。昨年は横路道知事まで参加し、おまけに地元の旅館に一泊するほどの入れこみようだった。

成りゆきにまかせていては何ごともし起らない。過疎化の荒波に押し流されて、自滅を待つばかりだ。長屋さんは過疎化を逆手にとって青年部の危機感をそそり、問題意識をじっくり育てた。つまり地域の活気を取り戻すためには婦人部だけでは心許ない。地域リーダーとしての青年部活動を上手に「演出」することが焦眉の急だった。

鉄は熱いうちに打て——生まれたばかりの青年部をつよく動機づけ、歴史の古い婦人部のマシネリを戒めるために、長屋さんは青婦合同研修を企画した。題して「若手経営者・商工婦人のための人間学」。青年部の初々しい知的好奇心と、婦人部のキメ細かい感性を融合させる、さり気ない演出だった。もつともこの陰には商工会の有能な補助

員、田中奉文さんの援護射撃があったのだが——。

青婦の足並みがそろったのを見とどけたうえで、長屋さんは五十代半ばにして婦人部長・道婦連副部長をあつさり引退。引き換えに子息を青年部に、嫁を婦人部に送りこみ、自身は孫育てのかたわら後継者づくりにこころを砕いている。母はつよし、

**あなたも
地域の
演出家**

経営シャーマナリスト
教育コンサルタント
河村孝次

話題にしたがらないはずだが、この人は臆せず、てらわす、おどかに子息のことを話す。それもそのはず、この子息は大きな桎梏を背負いながらも手仕事健常者なみにしあわせな家庭を築いているからだ。

「いまでこそ笑って話せますけど、子どもが小さいころは……」と彼女は目をうるませたが、それでいて笑顔にまったく曇りがない。天衣無縫のほほえみ、なんともしなやかで逞しい人である。そんな松井さんをリーダーに据えている婦人部だから、組織のまとまりのよさは抜群だ。「熟年を美しく生きるために」と題してわたしが講演したのが二年前。むろん商工婦人の生きかたをのべたのだが、締めくくりに、「自己を耕し、地域を耕す」ことに触れた。時間にしてほんの数分にすぎない最後のことを、松井さんは聴き洩らさなかつた。

子育て上手が地域や婦人部活動を上手に演出している例をも一つ。

富山県滑川商工会議所の婦人部長・松井キミエさんには、身障者の長男がいる。ふつうなら

話し合おうブレインストーミングが始まった。すぐにも実行できそうなモノづくりから、途方もなく大きなコトおこしまで。

昨年夏、松井さんから電話が入る。「センセ、とうとうやりました。ホテルイカのデザインで、ビッグホールターを開発しましたの」

乙女のように声が弾んでいる。これから上京するので、半日あけてくれという。さんざん待たされた挙句、新宿で会った。滑川市のシンボルマークにもなっているホテルイカのデザインを市から借用し、ホールターに象嵌してある。やはり女性ならではの発想だ。

だが、わたしが期待したのはコトおこしだった。不満気なわたしの表情を見透かしたように、すかさず松井さんがいう。「わたしたちにとって初めての経験だから、これはみんなのこころを繋ぐ地ならしなの。本命は山の斜面にシバザクラを植えて、ホテルイカの絵を描くこと」

「なるほど。でもシバザクラが繁植すると、せつかくの絵がくすれて……」

「根っ子が広がるのを防ぐ装置

も、ぜんぶ計算済みですから」と松井さんは胸を張る。たしかに婦人部の自主企画としては壮大な試みだ。

たまたま昨年夏、石川県青連・県婦連研修の機会があり、掃路滑川に立ち寄って、花文字やホタルイカを象った花絵をこころに想い浮かべながら、山肌を見上げたのだった。

たとえば、「観光開発は婦人部の手で」を合言葉に、地域に埋もれていた地蔵五十三体を掘りおこし、「地蔵めぐりコース」を設けて町を蘇らせた兵庫県春日町。

埼玉朝霞市では青婦合同で、徹底した討議中心の研修に踏み切った。六週連続の集中豪雨型研修にもかかわらず、青婦ともに一人の落ちこぼれもいなかった。なぜか？それはたぶん駅前再開発をひかえているつよい問題意識に加えて、参加者各人が「主役」になれるグループ討議形式だからだ。これは再開発事業を演出する布石として、演出家(地域リーダー)の研修を「演出」したのである。

ここに、三年、イベントや講習会のマンネリ化を吹きとばす

試みが目立ってきた。埼玉栗橋

町がその際立った例だろう。静御前の墓以外に、めばしい観光資源は何もない。何もないからこそ新しいまつりを創造するのだ、という逆発想。平均年齢は

けっして若くはないが、籠宮部長とこれを補佐する駒宮、成川両副部長の発想はおどろくほど柔い。去る一月末に三回目の研修を終えたところだが、事前研究ゲーム、文献討議などプログラムも多彩。グループ討議での課題解決も卓抜。いま婦人部は燃えている。

こうみてくると、隠れた名演出家はけっっこういる。そして彼女たちに共通しているのは組織(地域)目標がはっきりしていること。その根底に部員の一人ひとりが、商工婦人としての生きかたに揺るぎない確信をもっていることだ。自己を耕す努力

を怠って、地域を耕すことはできない。わたしが婦人部研修で一回目は「熟年を美しく生きるために」と題して講演、二回目からはグループ討議中心に「地域振興のシナリオづくり」を推

しすすめるのはそのためである。燃えよ婦人部！

二八四名が集い

平成元年度民謡舞踊研究発表会

盛大に開催される



日頃の練習成果を披露する参加者

去る平成元年十月十九日(木)、

ちば玉姫殿において恒例の商工会婦人部民謡舞踊研究発表会が中野副知事、勝股県婦連顧問(前県婦連会長)等を来賓として迎え、県下三五商工会婦人部二八四名という予想以上の参加者を得て盛大に開催された。

この研究発表会は、商工会婦人部の交流を深め、部員相互の親睦を図るとともに婦人部の結成促進を目的として毎年度(昨年度は諸般の事情により中止)行われております。

今年度は舞踊を中心にダンス、カラオケと四四曲が演じられ、日頃の練習成果を披露するとともに、又各商工会婦人部のご協力によりあらたに購入された「県婦連旗」の披露も併せて行われ、例年になく熱気のこもった発表会となり成功裡に閉会した。

県下各地にて心暖まる募金運動展開される

一部地域では主旨に賛同し、青年部も実施

本年度、県商工会婦人部連合会では地域における商工会婦人部の使命と役割を認識し、地域社会の福祉推進を目的に「社会一般の福祉の増進に資する事業」の一環として、県下商工会婦人部により「ふれあい募金運動」を実施したところ、県下各地域の商工会婦人部（ふれあい募金の主旨に賛同し、一部の地域では青年部にも実施される。）において積極的な募金運動が展開され、その結果、心暖まる多額の募金が寄せられ福祉推進運動に対する地域社会の認識の深さがうかがえました。

なお、実施商工会婦人部並びに募金額は一覧表のとおりです。

平成元年度ふれあい募金運動実施一覧表

(平成2年3月現在)

商工会名	募金額	商工会名	募金額	商工会名	募金額
流山市	10,000	芝山町	11,438	君津市小糸	10,000
我孫子市	60,000	八日市場市	20,000	富津市大佐和	9,235
鎌ヶ谷市	12,300	旭市	22,845	富津市天羽	13,800
沼南町	10,000	飯岡町	12,437	大多喜町	10,000
成田市	10,000	光町	10,000	御宿町	10,000
佐倉市	11,083	印旛村	10,000	大原町	12,000
八千代市	10,000	下総町	20,208	岬町	10,000
四街道市	10,000	大栄町	7,048	鴨川市鴨川	12,400
白井町	11,408	山田町	10,000	鴨川市江見	10,000
本埜村	10,000	千渴町	14,500	富浦町	14,200
陸沢町	19,310	東庄町	18,238	富山町	10,000
山武町	20,000	木更津市富来田	10,000	鋸南町	20,000
蓮沼村	44,822	君津市君津	10,000	和田町	10,000
松尾町	20,000	君津市小櫃	10,000		

新設婦人部紹介

婦人部を設立して

長南町商工会婦人部

部長 安田 喜栄

長南町商工会婦人部は、平成元年十二月十五日設立致しました。部員は三十五名、部長、副部長、常任委員の役員で運営を致します。設立総会には、来賓として、千葉県商工会婦人部連合会長、坂本圭子様を始め、長南町長、親会正副会長、設立準備委員の出席を頂きました。又多数の婦人部員の出席により各議案がスムーズに可決され盛会裡に終了致しました。

音堂があり、参拝客も四季を問わずにぎわっています。この様な土地風土に恵まれ歴史のある「ふるさと」である事に誇りを持ち、私達婦人部は「地域社会に奉仕する心を持つ」「活性化を目指し組織を持つ」「行動する」をモットーに、ふるさと振興に使命感を持ち、地域社会に於けるボランティアの精神を高く掲げて、スタートを致しました。

さて私達の長南町は県のほぼ中央に位置して、周囲は緑の山にかこまれ自然の豊かな城下町でございます。町の特産品とい

長南町商工会婦人部設立にあたり、皆様方の益々の御繁栄と御多幸を心より祈念致しますと共に、今後共当会婦人部に絶大な御指導、御鞭撻の程をお願い申し上げます。

たしましては、生椎茸・連根等がございます。又、環境庁選定による日本名水百選の「熊野の清水」日本唯一の四方懸造りである有名な国の重要文化財の笠森観

望み、環境庁選定による日本名水百選の「熊野の清水」日本唯一の四方懸造りである有名な国の重要文化財の笠森観